

寄稿 「見える川崎市政」の実現 まず「こども」

川崎市議会議員 ほりぞえ健

企画・製作/ 民主党ほりぞえ健事務所



ほりぞえ健

川崎市政改革の新たなステージを始めるためには、「見える川崎市政」の実現が必要で、川崎市の本音がどうなっているか、私たちの努力でどうなるのか。ありのままに直視することから、すべての

改革が始まります。まず、最優先で取り組むべき課題は、あまりに急速に進みつつある少子化傾向に歯止めをかけることです。すでにわが国は、少子化の段階から、現役世代(生産年齢人口)の減少の段階へと移りつつあります。このまま少子化傾向が続けば、社会保障制度だけでなく、社会機能の維持自体が難しくなります。仮に今年、子どもが増えたとしても、そのこともたちが社会的担い手になるには、少なくとも18年以上の歳月が必要ですから、まさに最優先で取り組む必要があります。少子化の原因は、すでに明らかにされています。OECDの統計数値によれば、いわゆる先進諸国のなかで、最も低水準な割合が最低水準なの

が、残念ながら日本です。「自己責任の国」といわれるアメリカでさえ日本の2倍、ヨーロッパ諸国は軒並み3倍程度、フランスにいたっては4倍以上の公費が、子どもたちのために使われています。その結果、フランスは少子化傾向を克服しただけでなく、子どもが増える社会へと転換しています。日本にとっても、川崎市にとっても、少なくとも他の先進諸国なみに、子どもたちのために税金を使う仕組みに変えなければならぬと、私は考えます。

事務所開き (会費無料)
3月19日(土) 午後2時半開始 (2時間開場)
 於 てくのかわさき

第46回 市政報告会 (会費無料)
3月6日(日) 午後2時開始
 於 地域交流センター(末長)

民主党川崎市議団 ほりぞえ健事務所

〒213-0033 高津区下作延2-8-57 エスビル4階
☎044(855)1479
 E-mail: Horiken@horizoe.com
 HP: http://www.horizoe.com

プロフィール

- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身、桐明中学、高校を経て東京工業大学を卒業、48歳。
- 東京都三鷹市で地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブン-イレブン本部での情報システム構築をはじめITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年、川崎市議会議員に初当選。現在2期目。
- 妻と長女の3人家族。下作延在住。

高津区版 No.681 平成23年2月25日(金)号

「Web版タウンニュース」で神奈川まるごと検索 パソコン、